

2012 - 2 - 1

## マウスの頭部

豚病理 金森健太

提出機関: Massachusetts Institute of Technology  
Division of Comparative Medicine

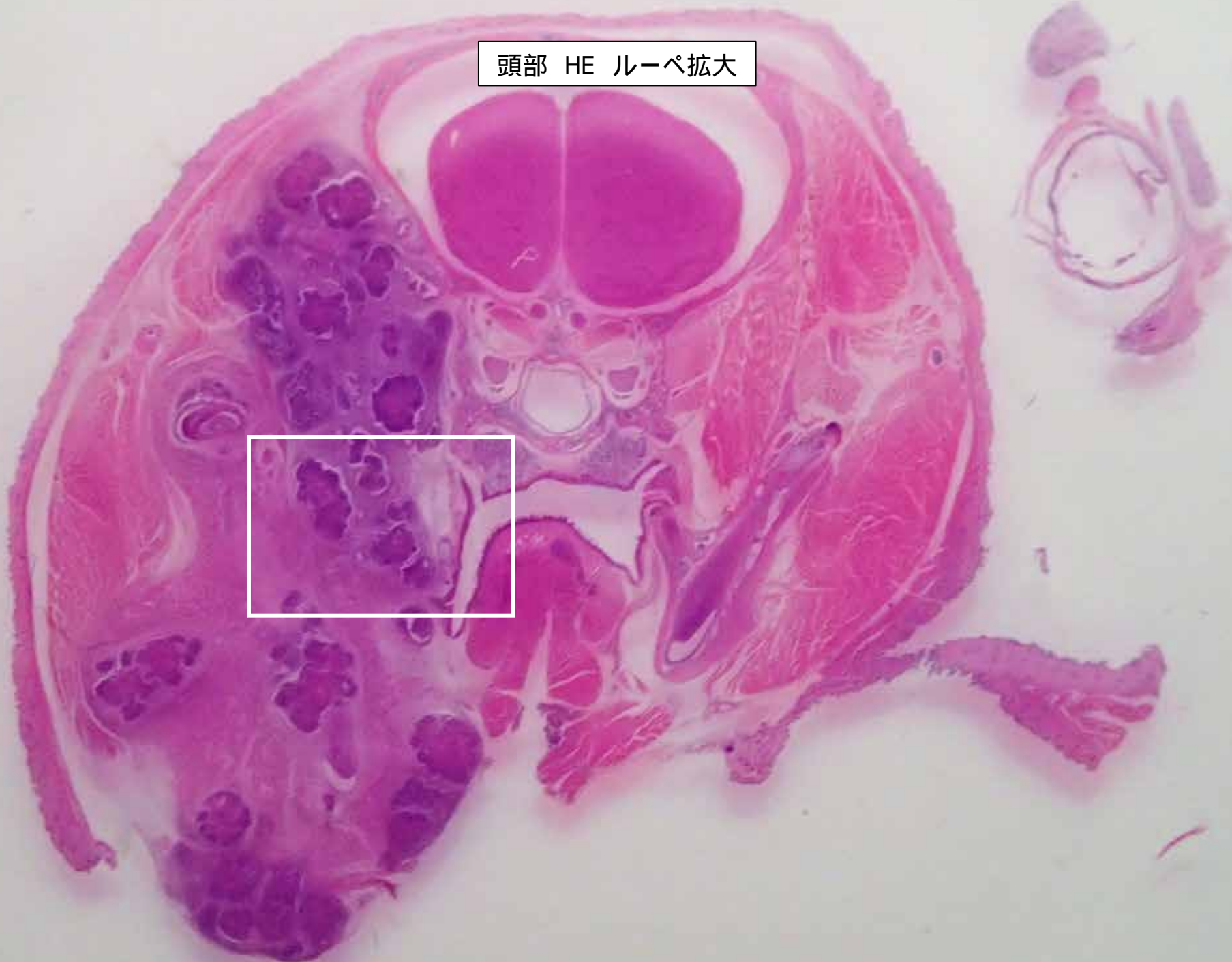
症例: スイスウェブスターマウス(ハツカネズミ)、6週齢、雄

病歴: 頭部と口腔周囲の腫大と腫瘤、斜頸。

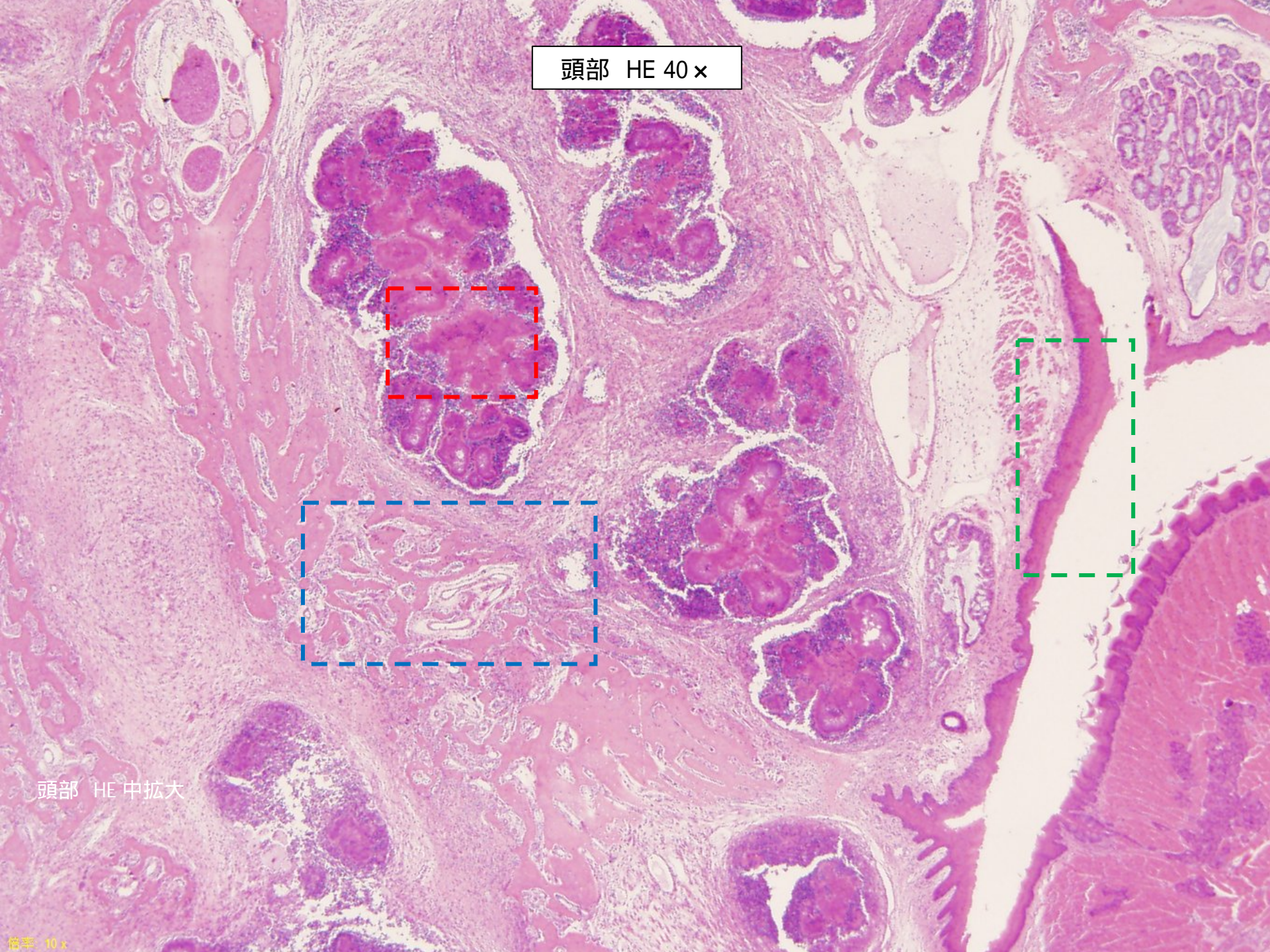
肉眼所見: 複数の白色結節が耳下腺と下顎腺に認められ、冠状切片像では同様の結節が吻側から頭側背部まで広範囲に認められた。その結節は固く、茶褐色の液体を含む。

検査結果: 黄色ブドウ球菌(*Staphylococcus aureus*)を分離。

頭部 HE ルーペ拡大

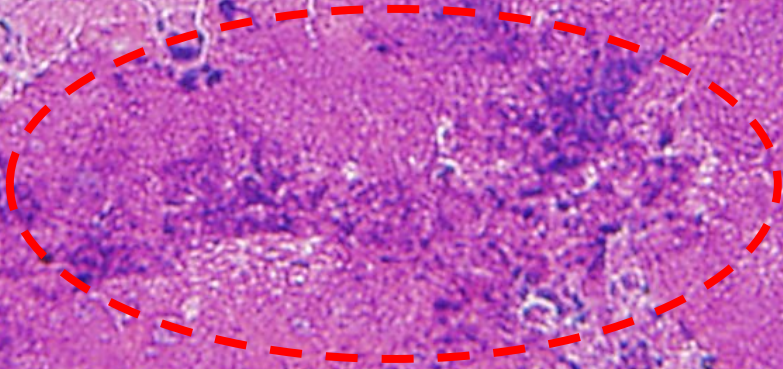


頭部 HE 40 x

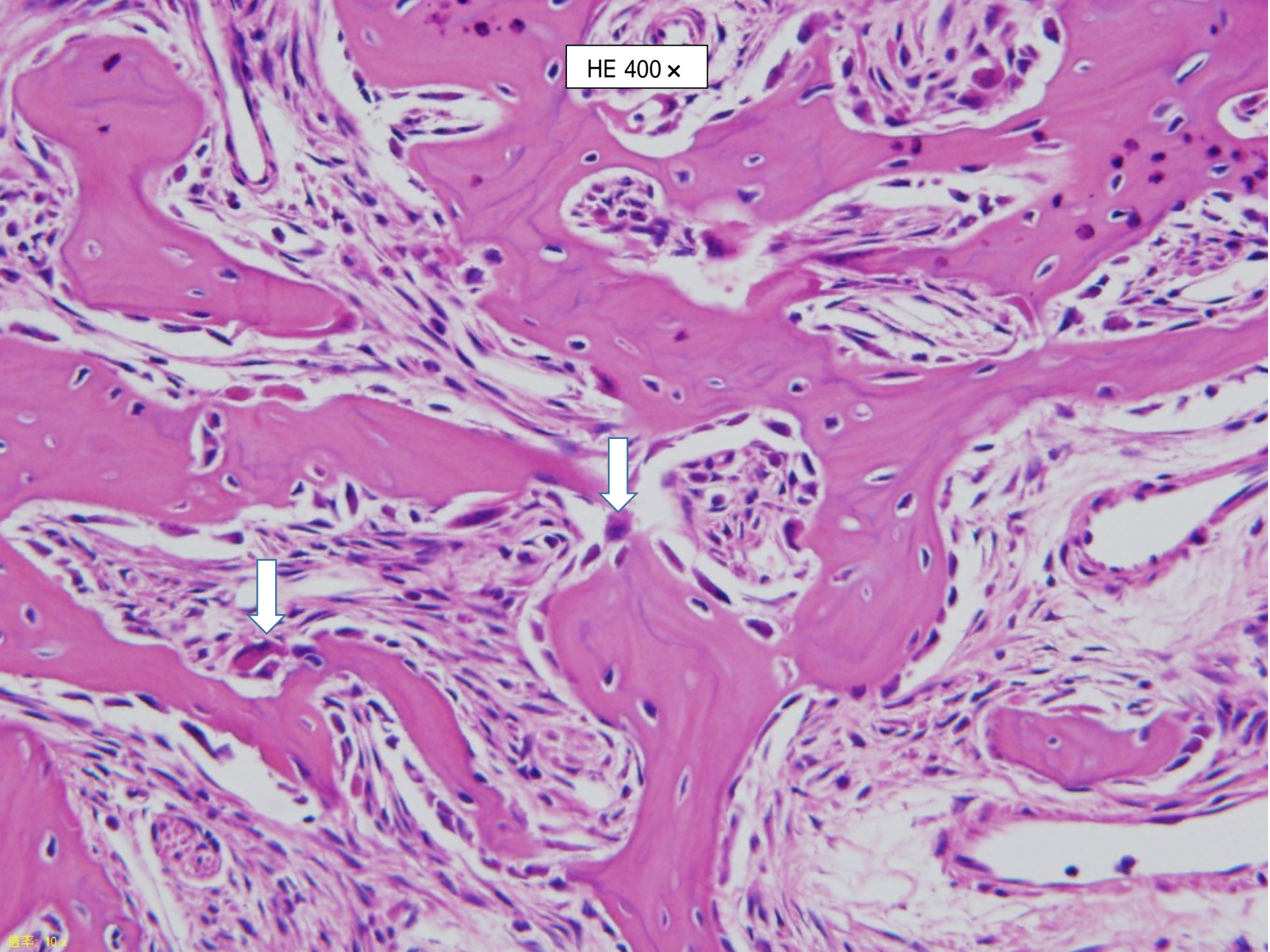


頭部 HE 中拡大

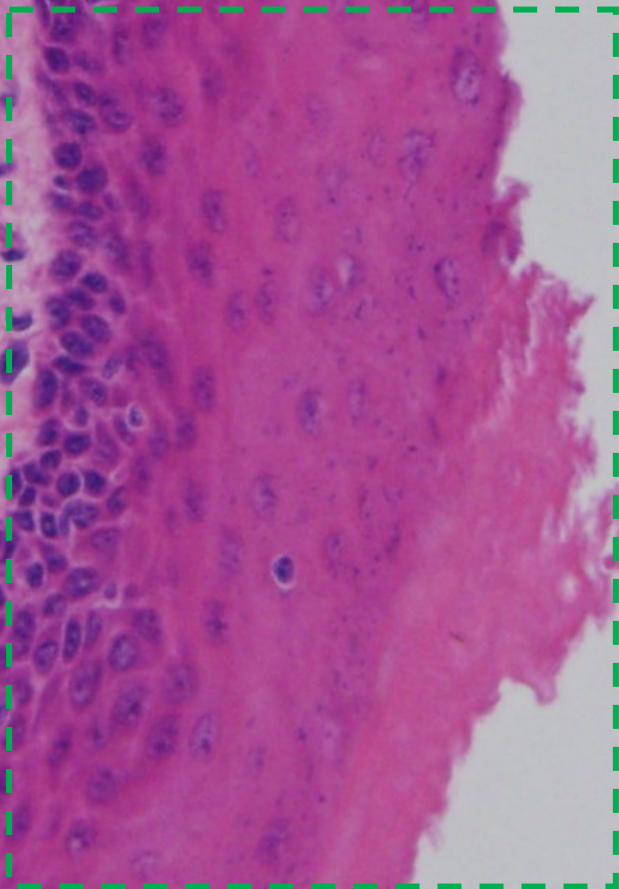
HE 400 ×



HE 400 ×



HE 400 ×



## 提出者の診断

多病巣性および癒合性、壊死性化膿性骨髄炎、筋炎、脂肪織炎、皮膚炎と蜂窩織炎、Splendore-Hoeppli物質、病巣内球菌塊、骨溶解および骨膜下線維性骨形成を伴う。

Multifocal to coalescing, necrosuppurative osteomyelitis, myositis, panniculitis, dermatitis and cellulitis, with Splendore-Hoeppli material and intralesional bacterial cocci, bone lysis and subperiosteal woven bone formation.

## 提出者のコメント

- ・ Splendore-Hoeppli物質は慢性ブドウ球菌症で発生する。
- ・ 真菌や寄生虫、細菌や不活性物質(縫合糸)を取り囲んだ時の、局所免疫反応。
- ・ 炎症細胞と線維素を含んだ複合物によって構成される。
- ・ **Flame figure**、**痛風結節**、放線菌症の**硫黄顆粒**に形態学的に類似。

## JPCの診断

皮膚、皮下組織及び上顎：蜂窩織炎、皮膚炎、筋炎、骨髄炎、化膿性肉芽腫、多病巣性および癒合性、重篤、大きな球菌のコロニーと、Splendore-Hoeppli物質を伴う。

Skin, subcutis and maxilla: Cellulitis, dermatitis, myositis and osteomyelitis, pyogranulomatous, multifocal to coalescing, severe, with large colonies of cocci and Splendore-Hoeppli material

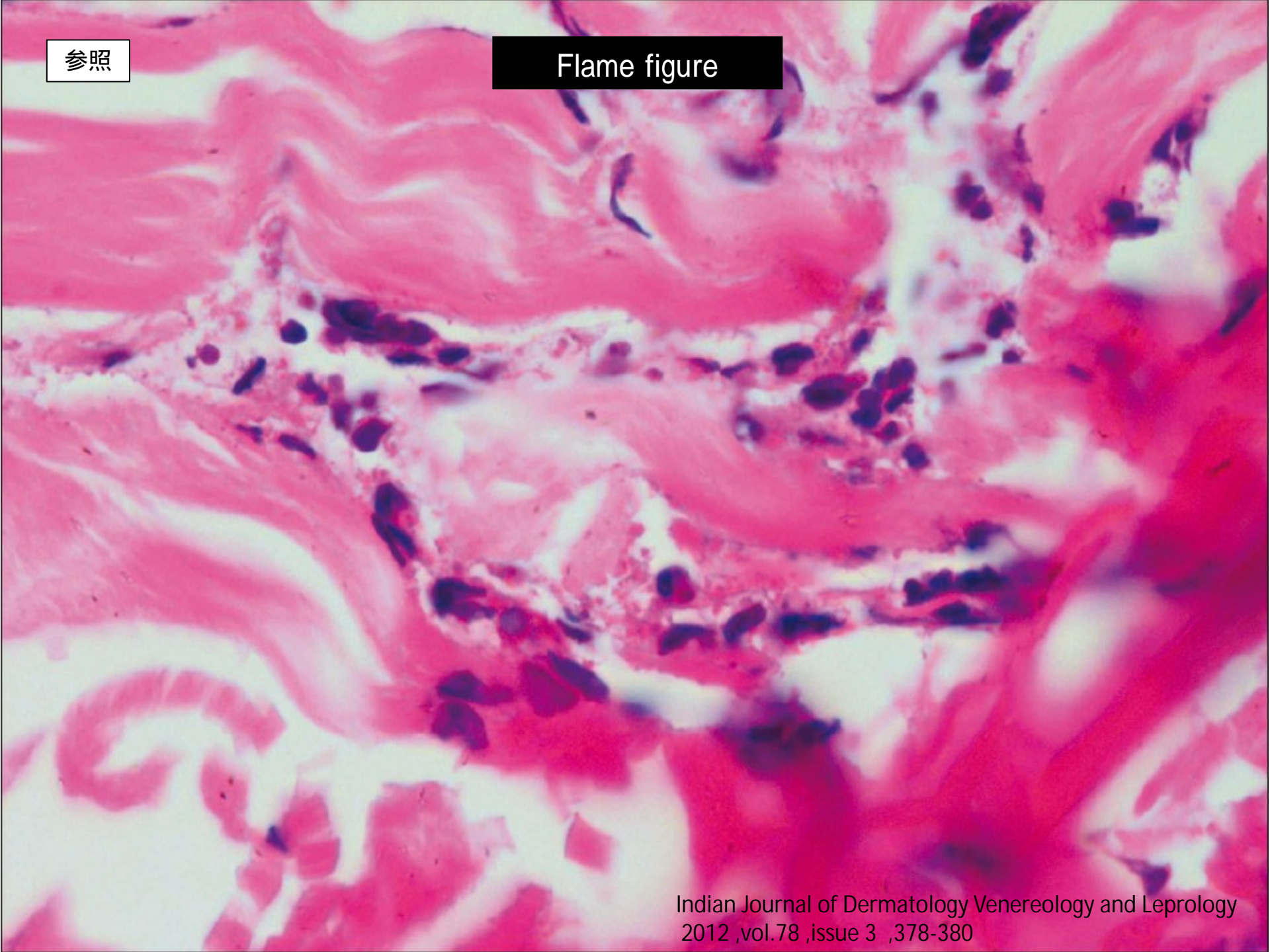
## 会議のコメント

- ・多数の顆粒球を伴う骨髄過形成が起きている。
- ・患畜はウロキナーゼタイプ・プラスミノゲン不活化マウス(uPAマウス)。
- ・線維素たんぱく質分解や、細胞外マトリックス(ECM)の機能損失により、ボトリオマイコーシスが発生した。



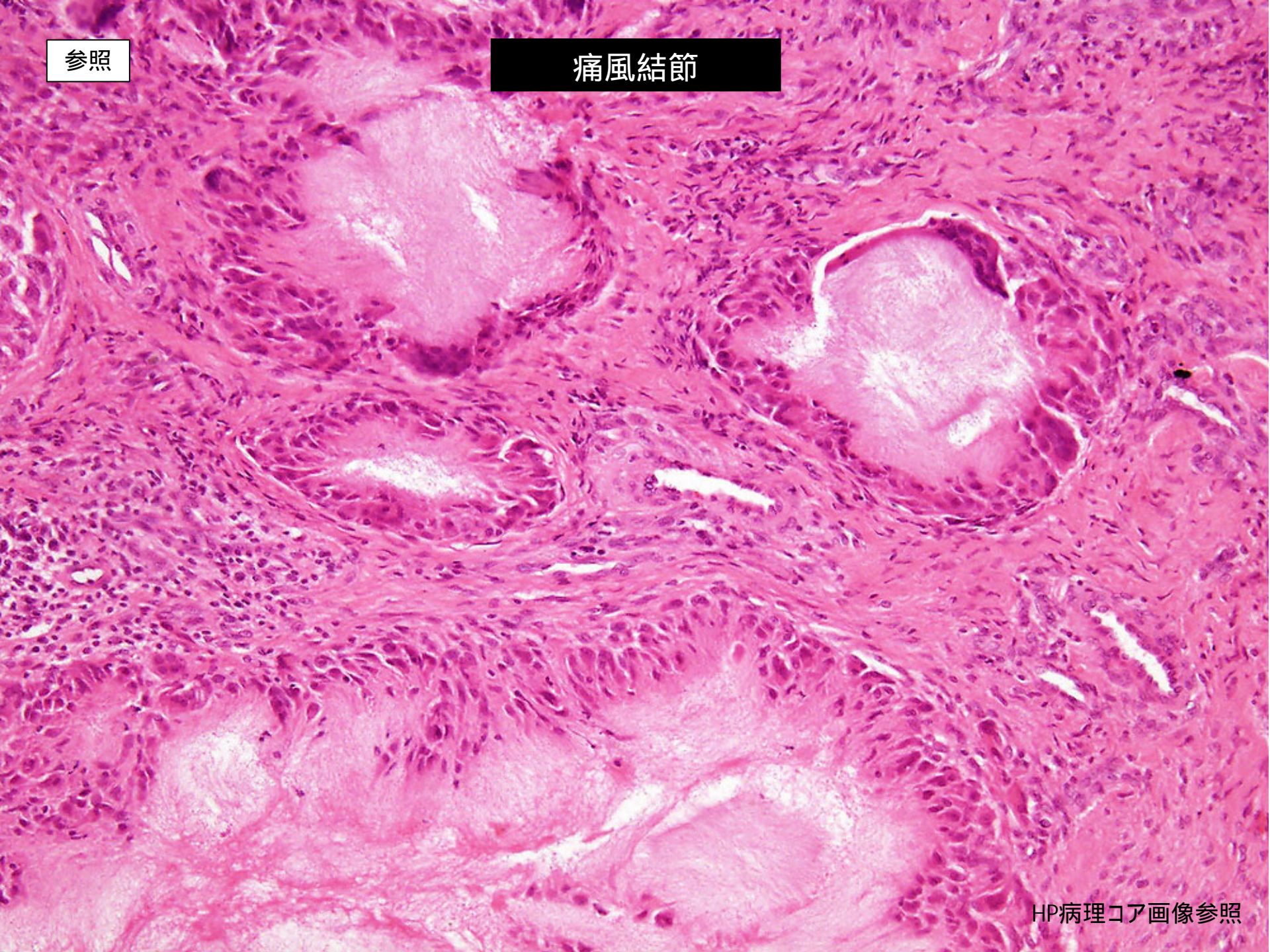
参照

Flame figure



参照

痛風結節



参照

放線菌症(硫黄顆粒)

